

企業・自治体を  
産技大が  
全力で  
支援します

共同研究 人材育成・研修 学術相談

# AIIT研究所

専門職大学院としての研究分野の深化および研究成果の社会への還元を目的として、社会ニーズにダイナミックに応えるべく、研究所を設置しています。

詳しくはこち



## スタートアップ・アクセラレーター研究所

Institute for Startup Accelerator

【研究所長：板倉 宏昭 事業設計工学コース】  
イノベーションを通じて社会に価値を生みだす活動・人材をアクセラレートできる仕組みを産官学連携で調査研究し、実践促進及び啓発をしていくことを目指します。

## 健康デザイン研究所

Research Center for Health Design

【研究所長：田部井 賢一 創造技術コース】  
人口減少・少子高齢化時代の介護・認知症予防、健康づくりや生きがいづくりに重点的に取り組み、心身の健康を図るプロジェクトを支援することを目指します。

## 人工知能とサービス科学研究所

Research Center for Artificial Intelligence and Service Science

【研究所長：松尾 徳郎 事業設計工学コース】

横断的、学際的な観点を取り入れつつ、次世代の人工知能研究を牽引し、社会活動を効果的に支援することを目指します。

## 戦略的機能イノベーション研究所

Centre for the Research of Emergent functions in Artifacts and Technological Enterprises

【研究所長：吉田 敏 事業設計工学コース】

現在、多くの企業や組織で提唱されているイノベーションに閉塞感がありますが、本研究所は、これまで薄めであった機能面からの徹底的な論理展開を試みるものです。

## 先端ソフトウェア工学研究所

Advanced Software Engineering Laboratory: ASEL

【研究所長：中鉢 欣秀 情報アーキテクチャコース】

従来のソフトウェア工学の範囲を超えて、アジャイル開発技術、サービスデザイン、UI/UX、デジタルトランスフォーメンション等にも研究対象を広げ、社会に有益な先端的ソフトウェア工学の研究開発を行います。

## 経営倫理研究所

Epistemic Research Institute of Social Ethics

【研究所長：前田 充浩 事業設計工学コース】

近代化の産業化局面と情報化局面とが重畳する現在における社会のあり方を、主として情報社会学の手法に依拠して追及していくことをを目指します。

## 医療情報研究所

Research Institute of Medical Information

【研究所長：小山 裕司 情報アーキテクチャコース】

医療分野には、治療格差の解消、死亡率の高い病気の撲滅、感染症対策等の依然として解決すべき課題が多く存在します。本研究所では医療分野に情報技術を活用することでこれらの課題解決を目指します。

## 行動科学研究所

Behavioral Science Laboratory

【研究所長：細田 貴明 事業設計工学コース】

人間のあらゆる行動を対象として科学的アプローチにより分析することで、人間の行動の持つ様々な特性を明らかにするとともに、よりよい行動につながるために必要となる理論、モデルの構築を行い、社会活動全般を効果的に支援することを目指します。

## 働くひとの未来研究所

Institute for the Future of Workers

【研究所長：三好 きよみ 情報アーキテクチャコース】

個人と組織の相互成長を促進する研究と実践を進め、働く人の未来に貢献することを目指します。柔軟な働き方、職場の人間関係といった働きやすさ、働く人の自己実現のための機会や心理支援について調査研究を行います。



東京都立  
産業技術大学院大学  
学長

**橋本 洋志**

HASHIMOTO Hiroshi

本学は東京都の産業振興に貢献する様々なプログラムを提供することを目的として設立され、中小企業の活性化を図るプログラムも実施してきました。対象とした分野は、ものづくり産業、サービス産業、データサイエンス／AI応用技術、IoTなど様々あります。

本学の教育プログラムは、次の3コースを有しています。

- 事業設計工学コース▶** 起業、企業内新規事業、事業承継を通して未来の価値づくりを担う「事業イノベーター」を育成
- 情報アーキテクチャコース▶** 情報系の上流工程のマネジメント能力を備え高度なIT技術者である「情報システムアーキテクト」を育成
- 創造技術コース▶** デザインとAI・データサイエンス技術を融合して価値創造をもたらす「ものづくりアーキテクト」を育成

各コースを担当する教員は、学術的研究だけでなく、現場に直接的に貢献する実績も数多く上げてきました。これら三つの領域を一つの大学として有しているのは我が国で本学のみです。本学の教員が担当できる領域は、高度IT技術、人工知能・データサイエンス、ロボット、デザイン思考、イノベーション論、サービスサイエンスなど従来の学問領域に加えて、我が国で最先端のものづくりDX論（文科省DX事業 [https://aiit.ac.jp/education/dx\\_project/](https://aiit.ac.jp/education/dx_project/)）などがありますので、幅広い業態に貢献できるものと考えています。

現在、第5次産業革命（第4次産業革命+人間中心+持続可能性+回復力+環境配慮）が提唱されています。この主旨は、産業界が、「回復力のある」、「持続可能な」、「人間中心」の産業への変革を遂げることによって、顧客や株主だけではなく地球も含めたすべてのステークホルダーへの長期的貢献を目指していることにあります。そのため、複数で複雑な指標を同時に考えなくてはならない時代を迎えており、これまでより難しい経営や技術開発のかじ取りが要求されています。

東京都の企業におかれましては、国内の顧客だけでなく、海外の顧客との繋がりも多く、そのため、国際競争という状況下で、時間的制約・物理的制約・文化的制約などに加えて、先の第5次産業革命の要件をも乗り越えることが求められる場面が増えてきています。本学には、各々の研究成果をベースにしつつ、チームで解決するスキルとノウハウを有し、複雑な課題解決に向けたアプローチを支援できる教員が多数います。本学教員の強みを活かしたアドバイスが、みなさまの課題解決に何らかの貢献ができるものと信じています。

## 01

## 製品・商品・サービス・ものづくり等の企画・検討

吉田 敏

YOSHIDA Satoshi 教授

事業設計工学コース



つくり手にとって、ユーザーの要望に対応したモノを創ることは、当然であると考えられます。これは、ユーザーが望まないモノを創っても意味が無いことから明らかです。しかし、つくり手が本当にユーザーの望むモノを創っているのかというと、多くの場合で違和感があるようなことが起こっている可能性があります。そのような状況を解説し、向かうべき方向性を見出すためのヒントを示していきたいと思います。



上田 太郎

UEDA Taro 教授

創造技術コース



お客様にとっての最適な商品やサービスを企画する時のポイントは「ニーズの先取り」です。リアルなユーザーの実態から如何に一步前に進めるか?時代やトレンドを追うだけでなく本質を見極め創造性のある解を導き出す事が大事です。また、これからはハードウェアとソフトウェアの相互作用を高めるような企画になっていくと考えられます。専門分野でもあるUXUIデザインに加え、長年にわたるデザインの現場のダイナミズムの経験と知見で、皆様と一緒に新しいものづくり、ことづくりを進めていきたいと思います。

内山 純

UCHIYAMA Jun 教授

創造技術コース



専門はプロダクトデザインです。民生用音響・映像機器から業務用機器、犬型ロボットAIBO、人型ロボットQRIOまで多くのソニー製品のデザインに携わってきました。本学では「人との共生を目指すパーソナルロボットのデザイン」に研究の軸をおきながら、工学とデザインの融合を目指しております。3DCADによるメカ・デザイン連携により、企業の皆様と共同研究・技術相談という形で是非連携させてください。



田部井 賢一

Tabei Kenichi 准教授

創造技術コース



fMRIなどの脳機能イメージングを使った認知神経科学が専門です。例えば、製品の使用感や健康に対する影響などをどのように科学的に示していくのかということに関して、実験計画の作成から、心理指標や生理指標の選択、そして脳内処理メカニズムの結果のまとめかたなどをご支援いたします。



越水 重臣

KOSHIMIZU Shigeomi 教授

創造技術コース



急速なデジタル化やグローバル化の進展、顧客ニーズの多様化といった環境変化の中、企業にはイノベーションが求められています。本学では「イノベーションデザイン特別演習」というプロジェクト活動を通じて、イノベーティブな製品やサービスをデザインするための方法論(AIIT PBL Method)を研究し、チームでイノベーションを興すためのノウハウを積み重ねてきました。企業における教育・研修やプロジェクトのファシリテーションにおいて協力することができます。

馬 瑞潔

MA Ruijie 助教



新興国企業は先進国企業とは異なる所有構造を持ち、これが企業の戦略的意思決定と組織行動に独特な影響を与えています。新興国の制度環境が企業の所有構造を通じていかに企業戦略を規定するかを探求しております。グローバル化が進展する中、新興国企業の行動原理を理解することは、海外市場への進出や国際ビジネス戦略の策定において重要な意義を持ちます。新興国市場への進出、または新興国企業との競争・協力について助言させていただきます。



五十嵐 俊治

IGARASHI Toshiharu 助教



AIを活用したUI/UXデザインが専門です。UI/UXというと画面のレイアウトやアイコンのみを扱うようと思われるがちですが、ユーザーのことを考えた時に改善点が別にある場合もあります。適切なフェーズにアプローチできるよう、AIとUXデザインの為の研究所を設立し、ソフトウェアだけなくIoTデバイスの設計、筐体のデザイン等にも対応できる専門家と連携しています。難易度の高い製品やサービスの試作についても対応可能です。

松井 実

MATSUI Minoru 助教



デザインアイディアの栄枯盛衰を進化理論の観点から数理的に説明する研究をしています。優れたアイディアの生成には、門外漢からの知見の流入が効果的であるとされています。常識に囚われない柔軟な発想で、新製品の開発や新事業の創出に助言が可能です。

## 東京都が設置した社会人が学びやすい専門職大学院

東京都立産業技術大学院大学では、  
事業設計工学修士、情報システム学修士、創造技術修士の  
専門職学位を取得できます。



## 02

### 仕事の進め方の知見・見直し・人材育成

板倉 宏昭 ITAKURA Hiroaki 教授

事業設計工学コース



経営(マネジメント)に関する概念、経営戦略の立案、組織マネジメント、ビジネスモデルの設計のための手法について情報提供が可能です。また、地域ビジネスを取り巻く課題、例えば、地域ビジネスの事業創成、地域子会社や地域組織マネジメント、地域ごとの経営戦略、地域ブランドなどについて情報提供が可能です。また、デジタル時代の経営組織マネジメント、AI(人工知能)の影響などについてもご相談ください。



中鉢 欣秀 CHUBACHI Yoshihide 教授

情報アーキテクチャコース



ソフトウェア開発方法論に関する研究と教育の経験に基づき、ジャイル開発に代表される先端的なソフトウェア開発手法の導入や技術者育成のためのコンサルテーション、ワークショップの開催、研修の実施等が可能です。また、クラウド技術等を活用した先端的情報システムのアーキテクチャリング、要求工学、ソフトウェア工学に関連した領域での研究開発などにソリューションをご提供いたします。

細田 貴明 HOSODA Takaaki 教授

事業設計工学コース



民間企業、公的機関を問わず組織のおかれた環境変化はめまぐるしく、実務家は従来よりも多くの問題に迅速に意思決定を行うことが求められています。このような厳しい環境におかれる実務家(特に、中間管理層)の現実の意思決定のあり方の研究・分析に取り組んできました。意思決定に関する様々なテーマで組織における教育・研修に協力することが可能ですのでご相談ください。



前田 充浩 MAEDA Mitsuhiro 教授

事業設計工学コース



世界システム、特にグローバリゼーションのあり方について研究しております。TPP、企業の多国籍企業化等の問題も、グローバリゼーションの観点から見していくことが必要であると考えております。

松尾 徳朗 MATSUO Tokuro 教授

事業設計工学コース



コンベンションビジネスやイベントビジネスを始めたい、新たな観光資源を発掘したりクリエートしたい、ユニークベニューを開発したい、地域に多くのコンベンションを誘致したいなど、社員/職員の研修や事業計画などを含む各種コンサルや講演を提供いたします。



三好 きよみ MIYOSHI Kiyomi 教授

情報アーキテクチャコース



組織やチームで業務を進めていく上で、チームビルディングは重要な課題です。また、個々の能力を最大限に発揮し、組織やチームの生産性を高めるには、ワークモチベーションの向上は欠かせません。本研究室では、チームビルディング、ワークモチベーション向上をご支援をいたします。特に、チームビルディングにおいては、短時間で相互理解が高まるブロックを用いたワークショップをご提供いたします。

三好 祐輔 MIYOSHI Yusuke 教授

事業設計工学コース



企業再編の増加や株主重視経営の定着などに伴い、財務知識の重要性が高まっています。これまで、企業にはどのような資金調達手段があるのか、調達した資金を複数ある投資案件のどれに投下するのか、利益をいくら還元すればいいのかという意思決定の問題を主に扱ってきました。



河西 大介 KASAI Daisuke 准教授

創造技術コース



企業におけるデザイナーへの効果的な育成方法や、新規商品開発の進め方について色彩と感性イメージを活用し支援いたします。昨今の中小企業においては、既存の受注商品の制作だけでなく、新たな自社製品の開発が企業存続に欠かせません。そのためには、市場調査やトレンドなどを調査分析するだけでなく、自社の強みやデザイナーの個性を活かした取り組みが有効であると考えます。一過性の取り組みではなく、中長期的な視野からお手伝いさせていただきます。

佐藤 里恵 SATO Rie 助教



人の力で行われている支援をロボットに置き換えて安全性や利便性を向上させる研究を行っています。作業を自動化する装置の開発や3DCADソフトを用いた機械設計のセミナーなど社内教育のお役に立ちたいと考えています。また、人手不足や女性の社会進出に伴い、男性が操作する前提で設計された機械を女性が操作する機会が増えております。性別を問わず安全安心な職場環境を実現するため、体格や力の差を補う工夫など助言させていただきます。お気軽にご相談ください。



尹 国花 YIN Guohua 助教



社会学を専門とし、資料データ分析やオーラルヒストリー手法を駆使して、東アジア各国の経済事情や企業の特徴について研究しており、企業活動の背後にある社会的・文化的要因や、東アジア地域における経済環境や企業戦略を分析しています。また、これまでの研究に関連した現地調査を通じて得た知見やノウハウを活かし、日本企業の海外進出、特に東アジア地域における事業展開や拡大に対して、実践的な助言や支援を行うことが可能です。

03

## システム設計・データ解析・ソフトウェア開発・セキュリティ・AI・IoT

追川 修一 OIKAWA Shuichi 教授

情報アーキテクチャコース



システムソフトウェア、特にLinuxを基盤とした各種システムの開発の相談に対応できます。これまでの、仮想化環境、ヘテロジニアスなマルチプロセッサ環境、次世代不揮発性メモリのオペレーティングシステム(OS)サポートに関する研究開発をとおし、OSカーネルに関する幅広い事例に関するお手伝いが可能です。



小山 裕司 KOYAMA Hiroshi 教授

情報アーキテクチャコース



各種の情報システムの企画、提案から構築、運用までの相談に対応できます。当研究室では、現在、スマートデバイス、クラウド、IoT、AI等のIT技術を医療、教育、エンターテイメント等の次世代成長産業分野に利活用する研究・開発を行っています。例えば、医療分野での研究成果は、実証実験を経て、現在、複数の病院の救急医療の現場で使われています。また、IT、情報システム、マネジメント、情報戦略に関する教育案件の相談に対応することもできます。



浪岡 保男 NAMIOKA Yasuo 教授

情報アーキテクチャコース



事業課題・社会課題を起点として、この解決に役立つ業務プロセス検討、情報システム設計、データ分析に関わる研究ならびに教育を行っています。近年は、大規模言語モデル(LLM)等の隆盛に伴い、AIの民主化が現実となり、従来は、専門的な教育を受けたエンジニアでなければ扱えなかったITやAIにかかる技術が、より身近に、利用しやすくなってきました。各種の課題に適切にデータベース、AI、機械学習、XRなどの技術を選定・適用する機会をいただけますと幸いです。



村越 英樹 MURAKOSHI Hideki 教授

創造技術コース



マイクロプロセッサを応用したシステムを設計してきました。高齢者見守りのセンサネットワークシステム、ペット用自動トイレや偏光イメージングシステムなどを試作しています。偏光イメージングシステムでは、マイコン制御により、カメラ、複数の光源、偏光板、回転テーブルを操作し、自動的に条件の異なる多数の偏光画像を撮像し、撮像した偏光写真をパラパラ漫画の要領で、動画として表示することができます。



張 晃達 ZHANG Chaofeng 助教



IoTとAIに基づいて次世代の高度道路交通システム(ITS)の開発を行っています。今日のホットトピックのなったIoTセンシング、ビッグデータ分析、およびAI予測システムの統合により、スマートシティ向けの都市管理、知能サービス提供、通信進化の解決法は実現できます。ユーザー体験、権限公平性、使用安全性を中心にサービス最適化のお手伝いも可能です。



横山 友也 YOKOYAMA Yuya 助教



ビッグデータに多変量解析を適用して、知見を見出す研究をしています。たとえば、質問回答サイトにおける質問者と回答者の引き合わせに関する研究や、全国消費実態調査に基づいたデータを用いて高齢者の経済活動能力の低下を検出する手法の開発にこれまで取り組んできました。また、MICEやIRのデータに関して、多変量解析等のデータの解析を通じて社会に寄与・貢献できる知見を見出したいという方は、ぜひお気軽にご相談ください。



奥原 雅之 OKUHARA Masayuki 教授

情報アーキテクチャコース



情報システムは今日のビジネスにおいて不可欠のインフラですが、その一方でその価値を狙うセキュリティ上の脅威は日々拡大しています。どの分野にどの程度のセキュリティ投資を行うかという経営判断は、情報セキュリティリスクが増大する今日のビジネスシーンにとって極めて重要です。当研究室では、セキュリティリスクの判断、情報セキュリティポリシーの策定、セキュリティ技術者育成などセキュリティに関する実務のご支援をご提供できます。

飛田 博章 TOBITA Hiroaki 教授

情報アーキテクチャコース



モノがインターネットにつながることで、新しいサービスを実現するためのIoTを中心に研究を行っています。データをセンシングするためのデバイスのデザインと実装、得られたデータと人工知能を組み合わせることにより、システムの評価や応用するアプリケーションを創出します。IoTに必要な要素全般に対応でき、ウェアラブルやユビキタスへの応用、更にはARやVR技術を組み合わせた新しいコミュニケーション、ビジネスや、エンターテイメントの創出に関しても対応が可能です。



林 久志 HAYASHI Hisashi 教授

創造技術コース



近年、人工知能(AI)が注目されています。これまでのAIは単独で動作するものがほとんどでしたが、今後は、ネットワークに接続され分散配置された無数のAIが広く社会に浸透し、人や組織や地域のためにAI同士が互いに協力・競争するAI社会が到来することが予想されます。このような未来のAI社会において、人間中心の理想的な社会システムを創造するために、夢のある研究を推進していきたいと考えています。



柴田 淳司 SHIBATA Atsushi 助教



人工知能と人の感性についての研究をしています。例えば人が対象の見た目や声から感じる印象を調べることで、人の意図理解をするだけでなく、ロボットのデザインや振る舞いの不自然さを低減することができます。こうした感性情報処理や機械学習を用いたデータ解析、生体情報解析について活用したいという方はご相談ください。



中内 遼吾 NAKAUCHI Ryogo 助教



言語モデルの内部機序分析を中心とした研究をしています。言語モデルは昨今産業分野への導入が進んでおり、用途によってはモデル内部の挙動がブラックボックスであることが問題化しつつあります。入力データに対してモデルがどのように反応し、出力生成しているかを分析することにより、意図しない挙動を低減するための方策を検討することに繋がります。業務用に導入した言語モデルの内部情報の解析・挙動改善の方策検討について活用したい方はご相談ください。



# 本学教員が高度な専門的知見で企業・自治体の発展のお手伝いをいたします

企業・自治体の課題に  
教員がともに取り組み、  
このようなご要望に  
お応えいたします



教員と共同研究を行い、  
製品開発を推進したい



技術力・デザイン力を活かして、  
新製品を開発したい



海外にも事業を展開し、  
事業拡大を図りたい



経営を改善し、  
売上げを拡大したい



現場を改善し、  
高品質の製品を開発したい



製造等における技術上の  
トラブルを解決したい



製品の機能、性能を  
調査したい



自治体が抱える様々な  
行政課題を解決したい



社員・職員のスキル向上の  
研修を実施したい



その他、技術的・経営的な  
課題に関して相談したい

## ご相談の流れ

Step 1

まず、相談窓口にご連絡ください。(メール・電話・FAX・本学HP)

E-mail: [opi@aiit.ac.jp](mailto:opi@aiit.ac.jp) 03-3472-7833 03-3472-2790

<https://aiit.ac.jp/contact/>

ご相談内容の概要をお聞かせください。後程、こちらから手続きに関してご連絡いたします。

Step 2

教職員がご相談に対応します。(初回無料)

初回のご相談(1時間程度)は無料です。複数の教員で対応することもあります。  
(教員の決定には数日間ほどお時間を頂戴します。ご相談内容によっては、ご希望にお応えできない  
こともありますので、予めご承知おきください。)

Step 3

最適な解決方法を本学教員と共同で見出していきます。(内容により経費負担あり)

面談・電話・電子メール等の方法により、最適な解決方法を本学教員と共同で見出していきます。  
内容によっては、本学との受託研究や共同研究などとなり、所要の経費をご負担いただきます。

## ニーズに合わせて連携メニューをご提供します

例



共同研究

企業等の研究員と本学教員が  
共同で研究を行います。



受託研究

企業等からの委託を受けて  
行う研究です。



人材育成・研修

本学教員が企業等の要望に  
沿った研修を行います。



学術相談

企業等からの依頼に基づき  
本学教員が指導助言を行います。

## 本学のOPI活動 地域の社会と産業界に開かれた研究拠点を目指して

東京都立産業技術大学院大学は、高度な教育による人材育成と先端研究の推進に加え、公立大学として地域に根ざし、地域社会および産業界の発展に貢献するという重要な使命を担っています。こうした地域社会・産業界の振興に資する実践的な活動を展開するため、本学では「オープンインスティテュート(OPI: OPen Institute)」を設置し、多様な取り組みを推進しています。

OPIの活動は、教育研究成果を地域や産業界へ還元することにとどまらず、社会や産業界のニーズを的確に把握し、それを大学の教育研究に反映させる貴重な機会ともなっています。こうした双方向の交流を通じて、本学は「地域に開かれた研究拠点」としての存在意義を一層高めています。研究開発や人材育成に取り組む企業・自治体の皆様におかれましては、ぜひお気軽に本学へご相談ください。

**AIIT** ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY  
東京都立産業技術大学院大学

管理部管理課社会連携係

〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40

E-mail: [opi@aiit.ac.jp](mailto:opi@aiit.ac.jp) Tel: 03-3472-7833 Fax: 03-3472-2790



本学ホームページ

<https://aiit.ac.jp/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

  <https://x.com/aiit4u>

 <https://facebook.com/aiit.ac.jp>



Instagram

<https://instagram.com/aiit.official/>

